

# 中学校国語編

文法の

キーワード

を覚えよう！



参考資料：福岡県版「国語活用資料集」(福岡県中学校国語科研究会編)

# 中学校国語編

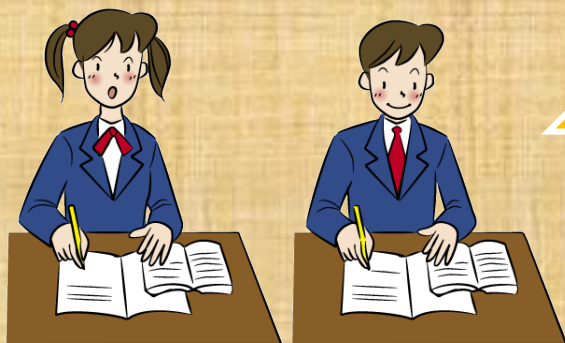
文法の **キーワード** を覚えよう！

I 言葉の単位について

II 文節について

III 単語（品詞）について

IV 敬語について



# ～ 取り組み方の説明 ～

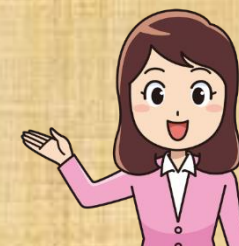


① これから、文法についての  
「**キーワード**」を覚えていますか？」と質問が出されます。

② それぞれの**問**いに対して、答えを考えましょう。



③ **答**えを考えたら、正解しているかを確認しましょう。



\* クリックすることで、次の画面に進んでいきます。

問 い

言葉の単位は

5つ

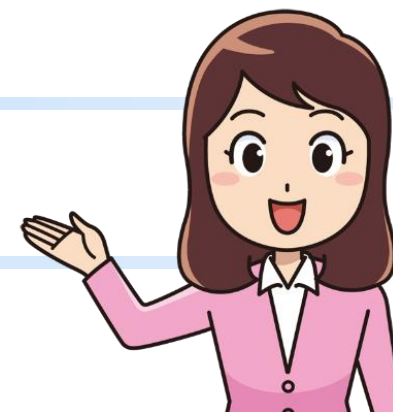
あります。

大きい順に挙げてみましょう！



「言葉の単位」は大きい順から

- ① **文章** **最も大きな**言葉の単位
- ② **段落** 文章を内容のまとまりごとに区切ったもの  
\* 意味段落と形式段落とがある
- ③ **文** ひと続きの言葉の単位で、**句点**「~。」で区切られる
- ④ **文節** 文を意味をこわさない程度に短く区切ったまとまり
- ⑤ **単語** 言葉を意味や働きのうえで分けた**最小の**単位



問 い

文節の働き（文の成分）は



5つ

あります。

すべて挙げてみましょう！

文節の働き（文の成分）は

- ① **主語** 「～は・～が」など、文の主体を示す文節
- ② **述語** 「どうする・どんなだ・何だ・ある」を表す文節
- ③ **修飾語** 下の文節に係って、意味を詳しく説明する文節  
\* 連体修飾と連用修飾とがある
- ④ **接続語** 単語や文節、段落、文、段落どうしをつないで、その関係を示す文節
- ⑤ **独立語** 文の中で独立した文節で、感動や応答などの意味を表す文節



問 い

文節と文節の関係は

4つ

あります。

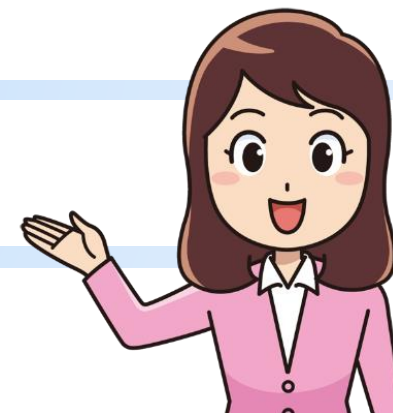
すべて挙げてみましょう！





## 文節と文節の関係は

- ① 主語・述語の関係  
(例) 私**は** 行く。 (例) 本**が** ある。
- ② 修飾・被修飾の関係  
(例) **赤い** 花 ⇐ 連体修飾  
(例) **かなり** 寒い ⇐ 連用修飾
- ③ 並立の関係  
(例) **りんごと みかんが** ある。
- ④ 補助の関係  
(例) 走**っ**て いる



## 「品詞」について



文法上の性質によって分類した

単語のグループを「品詞」といい、

代名詞を除くと **103** あります。

## 「品詞」について

単語は

まず、「**自立語**」と「**付属語**」に、  
(単独で文節を作れるか? 作れないか?)

次に、「**活用する**」か「**活用しない**」に、  
(言葉が変化するか? 変化しないか?)

分かれ、分類されていきます。  
それらが整理されたものが『**品詞分類表**』です。



問 い

述語になり“用言”という

自立語で活用がある品詞は

3つ

あります。

すべて挙げてみましょう！



自立語で活用がある品詞（用言）は

①

動詞

動作・作用・存在を表す

「**ウ**段の音」で終わる（例）読む、走る、遊ぶ

②

形容詞

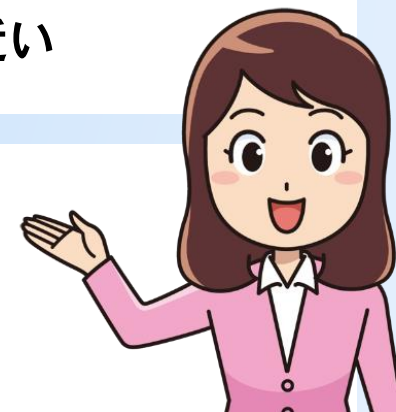
性質・状態を表す

「**い**」で終わる（例）美しい、暑い、近い

③

形容動詞

性質・状態を表す

「**だ・です**」で終わる（例）静かだ、素敵だ

問 い

動詞には、活用の種類が

5つ

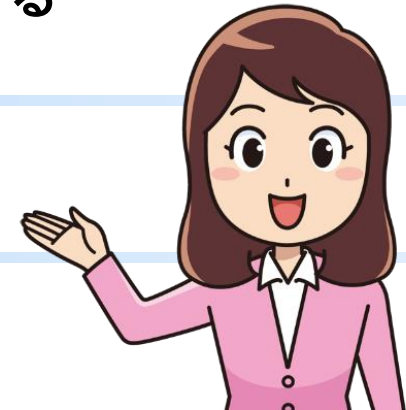
あります。

すべて挙げてみましょう！



## 動詞の活用の種類は

- ① **五段活用** 活用語尾が五十音図の**アイウエオの五段**にまたがって変化する  
(例) 読む、走る、遊ぶ
- ② **上一段活用** **イ段**の音に「る・れ・ろ」が付く形で変化する  
(例) 着る、起きる、用いる
- ③ **下一段活用** **エ段**の音に「る・れ・ろ」が付く形で変化する  
(例) 寝る、投げる、助ける
- ④ **カ行変格活用** **カ行**だけで活用する  
(例) 「来る」の一語のみ
- ⑤ **サ行変格活用** **サ行**だけで活用する  
(例) 「する」「・・・する」型の動詞



問 い

動詞には、音便 (おんびん) が

3つ

あります。

すべて挙げてみましょう！





動詞の音便はで活用がある品詞（用言）は

①

イ音便

活用語尾 ⇨ 「い」

(例) 書きた→書いた、泳ぎた→泳いだ

②

促音便

活用語尾 ⇨ 詰まる音「っ」

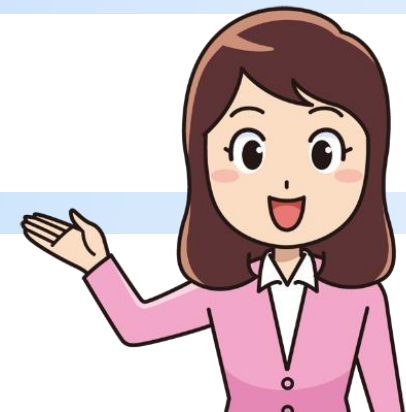
(例) 作りた→作った、行きた→行った

③

撥音便

活用語尾 ⇨ はねる音「ん」

(例) 読みた→読んだ、遊びた→読んだ



&lt;動詞の音便&gt;

五段活用の動詞の連用形に「た・て」などが付くと、活用語尾の音が変わる場合があること

問 い

自立語で活用がない品詞は

5つ

あります。

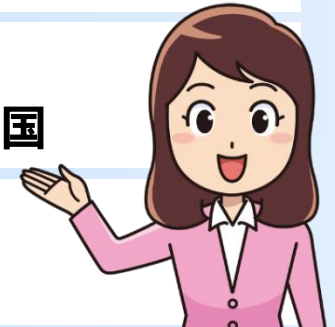
すべて挙げてみましょう！



自立語で活用がない品詞は

- |   |     |   |
|---|-----|---|
| ① | 名詞  | 人・事・物の名前で表す<br>(例) 学校、福岡県、三人、泳ぐこと                           |
| ② | 副詞  | 主に用言を修飾する<br>(例) はっきり言う、もっと勉強する、決してしない                      |
| ③ | 連体詞 | 主に体言を修飾する<br>(例) この本、小さな箱、ある町、たいした理由、わが国                    |
| ④ | 接続詞 | 接続語になり、単語や文節、文、段落をつなぐ<br>(例) だから、しかし、また、または、つまり、さて          |
| ⑤ | 感動詞 | 独立語になり、感動や応答、呼びかけ、あいさつ、かけ声の意味を表す<br>(例) ああ、はい、もしもし、おはよう、それっ |

主語になり“体言”という



問 い

名詞（体言）には、種類が

5つ

あります。

すべて挙げてみましょう！



## 名詞（体言）の種類は

- ① **普通名詞** 一般的な物や事柄を表すもの  
(例) 人、学校、心、成功、運動、ロケット
- ② **代名詞** 物事（人・物事・場所・方向）を指し示すもの  
(例) わたし、ここ、あちら、どこ
- ③ **固有名詞** 人名、地名、国名、書名、など特定の物事の名前を表すもの  
(例) 紫式部、福岡県、スイス、源氏物語
- ④ **数詞** 数量や順序を表すもの  
(例) 三人、八グラム、一回目、何本、いくつ
- ⑤ **形式名詞** 名詞の本来の意味がうすれ、形式的な意味を表すもの  
(例) 泳ぐ**こと**、困った**もの**、出る**ところ**、できる**はず**



問 い

副詞には、種類が

3つ

あります。

すべて挙げてみましょう！



## 副詞の種類は

①

## 状態の副詞

どのような状態であるかを示す  
擬声語、擬態語も状態の副詞である

(例) はっきり言う、モーモー鳴く、のろのろ歩く

②

## 程度の副詞

事柄の程度がどのくらいであることを示す

(例) もっと勉強する、とても暖かい、たいへん静かだ  
かなりゆっくり歩く、もう一度行きたい

③

## 呼応の副詞

下に決まった言い方がきて、話し手の気持ちや態度を表す

(例) 決してしない、たぶん晴れるでしょう  
もし忘れていたら、まるで雪のように



問 い

接続詞には、種類が

6つ

あります。

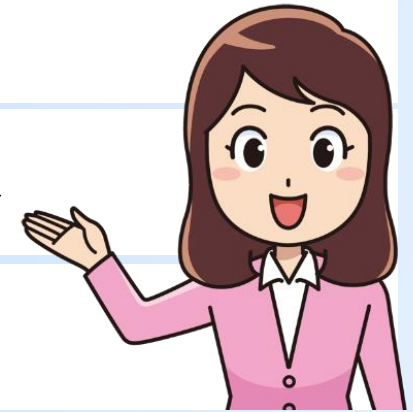
すべて挙げてみましょう！





## 接続詞の種類は

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| ① | 順接    | 前を受けて、その <b>順当な結果</b> が次にくることを表す<br>(例) だから、それで、そこで、すると   |
| ② | 逆接    | 前とは <b>逆になる</b> 事柄が次にくることを表す<br>(例) しかし、だが、けれども、ところが      |
| ③ | 並立・累加 | 対等に <b>並べたり、付け加えたり</b> することを表す<br>(例) また、および、そして、それから     |
| ④ | 対比・選択 | <b>比べたり、選んだり</b> することを表す<br>(例) または、それとも、あるいは、もしくは        |
| ⑤ | 説明・補足 | 前の事柄の <b>説明</b> や <b>補い</b> を表す<br>(例) つまり、なぜなら、すなわち、たとえば |
| ⑥ | 転換    | <b>話題を変える</b> ことを表す<br>(例) さて、ところで、ときに、では                 |



問 い

付属語の品詞は

2つ

あります。

すべて挙げてみましょう！



## 付属語の品詞は

①

## 助動詞

- ・ 付属語で、活用する品詞
- ・ 意味を付け加えたり、話し手の判断を表したりする  
(例) 食べよう、書かせる、終わった、行きます

②

## 助詞

- ・ 付属語で、活用しない品詞
- ・ 語と語の関係を示したり、意味を付け加えたりする

- ①格助詞：主に体言に付いて、下の語との関係を示す  
(例) 教科書を読む、ふるさとへ帰る
- ②接続助詞：用言や助動詞に付いて、前後をつなぎ、その関係を示す  
(例) 寒いのでストーブをつける、春になれば花が咲く
- ③副助詞：いろいろな語に付いて、意味を添える働きをする  
(例) 三ヶ月ほど練習する、音楽などを聴く
- ④終助詞：文や文節の終わりに付いて、話し手や書き手の気持ちや態度を表す  
(例) それは何ですか、すてきだわ



問 い

敬語の種類は

3つ

あります。

すべて挙げてみましょう！



## 敬語の種類は

①

## 尊敬語

相手や話題の中の人物の動作や持ち物を**直接**高める

(例) おっしゃる、いらっしゃる、召しあがる

②

## 謙譲語

自分や身内を低めて、相手を**間接的に**高める

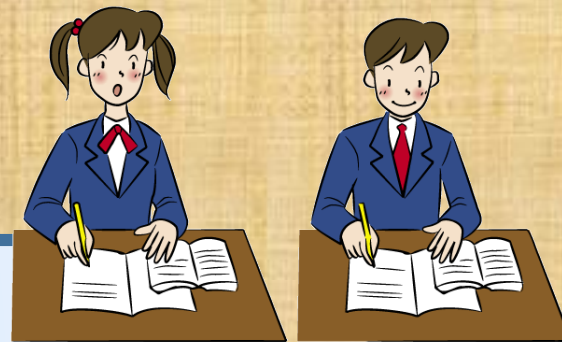
(例) 申す、参る、いただく

③

## 丁寧語

聞き手（読み手）に対して、**丁寧に**述べる(例) ～**です**、～**ます**

# 中学校国語編



文法の **キーワード** を覚えよう！

I 言葉の単位について

II 文節について

III 単語（品詞）について

IV 敬語について

いくつ  
覚えたかな？

全部で **12コ** の

問 **い** がありました